

の共力作用により、雑草の生長点に強く作用し、抑制・枯死に到らしめる。ナプロアニリドは、雑草の根部および茎葉部より吸収され、雑草体内で細胞分裂や伸長の旺盛な部位の正常なホルモンの働きを攪乱し、雑草を枯死させるかあるいは、生長を抑制する。また、プロモブチドは雑草の幼芽部および根部から吸収され、根から吸収された成分は容易に茎葉部へ移行し、雑草を徐々に枯殺する。一方メフェナセツトは根部および幼芽部の主として生長点原基に作用し、タンパク合成を阻害する。すなわち、生長点における細胞サイクルの静止期・代謝期に作用し、細胞の分裂・伸長を阻害することによって雑草の生育を停止させ、枯死にいたらしめる。

特徴：①広い散布適期幅をもち、農作業に余裕。田植後12～15日頃までの散布ができるため、代かき・田植・補植・除草剤の散布と連続の農作業にゆとりをもたせることができ、いままででない極めて便利な除草剤といえる。②広範囲の雑草に優れた効果。ノビエをはじめとするキャツリグサ・コナギ・その他一年生雑草やマツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヒルムシロなどの多年生雑草に対する除草効果が高く、一年生および多年生雑草の同時防除剤として、一発処理が可能である。③抑草期間が長い。高い効果が40日以上持続し、雑草の発生を長期間抑えるため、中期剤を省略することができる。④水稻に対する高い安全性。温度などの諸条件による影響が少なく、水稻の活着後に使用するため、より安全性が高い。⑤人畜に対する毒性が低く、魚介類に影響が少ない。

毒性：急性経口および急性経皮毒性はいずれ

も普通物である。

使用方法：東海・北陸以北の普通期栽培地帯では移植後7～15日に、近畿以西の普通期及び早期栽培では移植後5～12日に、10a当り3kgを湛水散布する。

使用上の注意：①雑草の発生状況は各地域の気象条件などによって異なり、特に多年生雑草は生育段階によって効果がふれる場合があるので、必ず地域に合った適期に散布する。ホタルイ・ウリカワ・ヘラオモダカおよびミズガヤツリは2葉期まで、ヒルムシロは発生期までが散布適期。②オモダカやクログワイなどの難防除雑草が多発する水田では、本剤だけでは十分な効果があげられないのでオモダカやクログワイに効果のある除草剤を併用する。③散布にあたっては止水し、通常の湛水状態（湛水深3～5センチ）で均一に散布する。散布後3～4日間は、そのまま湛水を保ち極端な浅水や深水にならないように注意し、落水、かけ流しはさける。④砂質土壌の水田や漏水田（1日の減水深が2センチ以上）、また山間冷水地帯では、薬害を生ずる場合や効果の低下がみられる場合もあるので使用しない。⑤極端な浅植えや浮き苗の多い水田などで、水稻の根が露出している場合は使用をさける。⑥軟弱苗を移植した水田での使用はさけ、本剤の散布後の補植はしない。

リードゾン®粒剤

ピラゾレート・プロモブチド・

メフェナセツト粒剤

（取扱メーカー） 三 共 株 式 会 社
（リードゾン普及会）

住友化学工業株式会社

日本特殊農薬製造株式会社
北興化学工業株式会社
山 本 農 薬 株 式 会 社

対象作物：移植水稻

成分・作用特性：本剤は4-(2,4-ジクロロベンゾイル)-1,3-ジメチル-5-ピラゾリル-p-トールエンスルホネート……ピラズレート4.0%, (RS)-2-プロモ-N-(α , α -ジメチルベンジル)-3,3-ジメチルブチルアミド……プロモブチド4.0%, 2-ベンゾチアゾール-2-イルオキシ-N-メチルアセトアニリド……メフェナセット3.5%を含有する類白色の細粒である。

本剤は、ピラズレート、プロモブチド及びメフェナセットの各々の作用特性が活かされ、極めて高い除草効果と優れた抑草期間を有している。

ピラズレートは水田中で加水分解を受けて変化したデストシルピラズレート(DTP)が除草活性の本体であり、クロロフィル(葉緑素)の生成を阻害し、いわゆる栄養飢餓状態から雑草を枯死させる。プロモブチドは、雑草の幼芽部及び根部から吸収され、容易に茎葉部へ移行する。移行した成分は、雑草の生長点の細胞分裂(新芽の伸長)を阻害するため生育を強く抑制し、徐々に枯殺する。メフェナセットは、根部・幼芽部から吸収され、雑草の生長点における細胞サイクルの静止期・代謝期に作用し、細胞の分裂・伸長を阻害することによって植物の生育を停止させ枯死させる。

特 徴：

1. 広い処理適期幅。

本剤は従来の初期一発剤に比べ散布適期幅が広く、雑草の発生始はもちろんノビエの2~3葉期まで優れた効果を発揮する。

2. 広範囲の雑草を長期間抑える。

ノビエ・コナギ等の一年生雑草からホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ等の多年生雑草まで広範囲の雑草に優れた除草効果を示すとともに、本剤の各成分とも土壤中での移動性は比較的小さく、土壌吸着性も優れているため、抑草期間は長く広範囲の雑草の発生を長期間にわたって抑える。

3. 水稻に対して高い安全性。

本剤の有効成分であるピラズレート、プロモブチド、メフェナセットは、いずれも水稻に対し安全性が高いので通常の使用条件では安心して使用できる。

4. 人畜・魚介類に高い安全性。

本剤の人畜毒性及び魚毒性は低く、使用時での安全性はもちろん環境への影響も少ない。

毒 性：

人畜毒性：普通物，魚毒性：B類。

使 用 方 法：

移植後5日から15日までに、10アール当たり3kgを湛水状態で均一散布する。

使用上の注意：

1. 本剤は、雑草の発生前から生育初期に効果があるので、時期を失しないように散布する。多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布する。ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカには2葉期まで、ヒルムシロは発生期までが散布適期である。

2. 散布の際は、湛水状態(水深3~5cm)

でまきむらがないように均一に散布する。また、極端な浅水や深水で使用しない。

3. 散布後3～5日間はそのまま湛水を保ち、田面を露出させず、落水、かけ流しは厳禁である。入水は静かに行う。
4. 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平化作業、植付けはていねいに行う。また、極端な浅植え、浮き苗などで根が露出している水田で使用しない。
5. 次の条件下では、初期生育の抑制やクロロシスが生ずる恐れがあるので使用はやめる。特にこれらの条件と梅雨明けの散布時、散布後数日間の異常高温が重なると、初期生育の抑制が著しくなる。
 - (1) 砂質土壌の水田及び漏水の大きな(1日の減水深2cm以上)水田。
 - (2) 軟弱な苗を移植した水田。

適用草種と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	10アール当り使用量	本剤のみを使用する場合の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草及びマツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヒルムシロヘラオモダカ(北海道)	移植後5～15日(ノビエ2葉期)まで	壤土～埴土(減水深2cm/日以下)	3kg	1回	湛水	北海道、東北、北陸
		移植後5～15日(ノビエ2.5葉期)まで				散布	関東以西(九州、南四国などの暖地を除く)の普通期及び早期栽培地帯
		移植後5～15日(ノビエ3葉期)まで					九州、南四国などの暖地の普通期及び早期栽培地帯

ハービエース水溶剤

ピアラホス水溶剤

(取扱メーカー) 明治製菓株式会社
武田薬品工業株式会社

対象作物：ぶどう・りんご・キャベツ・はくさい・トマト・きゅうり・すいか・花木・桑。

成分・作用特性：本剤は、L-2-アミノ-〔(ヒドロキシ)(メチル)ホスフィノイル-L-アラニル-L-アラニン〕のナトリウム塩を有効成分として20.0%含有する青色水溶性細粒及び微粒である。本剤の有効成分は、ストレプトマイセス・ハイグロスコピカスに属する放線菌によって産出される醗酵生産物であり、醗酵生産物による除草剤としては世界で初めて実用化されたものである。醗酵生産物は一種の天然物であり、自然界における物質循環の中で代謝・

分解されて、土壌残留等による環境汚染の心配のない農薬である。

本剤は、非選択性茎葉処理型除草剤であり、植物に散布すると植物体内でグルタミン酸とアミノニアからグルタミンが合成される際に関与

するグルタミン合成酵素の活性を阻害する。こ